

令和2年度 くまもと・わくわく基金 助成申請団体一覧

【ステップアップ助成】

助成金予定額 150万円

No.	団体名	事業名	事業概要	申請金額 (円)
UP-1	NPO法人 しらさぎ	熊本城石垣・清掃ボランティア活動	武者返して有名な熊本城の石垣除草は高所作業となりますが、一般参加者ができる高所作業の助勢、そこから掃い取られた草木や葛の掻き集めや、地上より届く箇所での石垣除草と城内公園の清掃など混成チームでの収集作業を計画しております。今年度も熊本地震からの復興が進む中、熊本県立第一高等学校隣接の石垣と桜橋公園の清掃ボランティア活動を企業や一般市民の皆様にお知らせとご案内を致します。また、開会式等で熊本城にまつわる歴史講話により、子供達を交えた教育も計画いたします。	204,000
UP-2	NPO法人 ガット	熊本市立小・中学校の学校図書館リニューアル事業	熊本市内の小・中学校の司書（司書補助員）、学校図書館担当者を中心に本事業の計画を提案し希望校を募る。相談事業実施校については、まず、視察や相談内容をとおして課題をとらえ、改善内容を決める。次に、ガットが改善案を作成し、実施校に回答する。運営のための準備作業が必要な場合は、ガットがサポートに入るようにする。また、他校の図書館担当者へも呼びかけて、改善の方法等を伝えたり、先進校の司書を講師として招いて講習会を開催したりする。	242,000
UP-3	エコ村伝承館	体験型環境学習活動の熊本市内への更なる展開	過去14年以上、熊本県内での活動をしている中で、熊本市内でのイベント開催をより広く展開し、多くの方々に『美しい地球を守る』為に何が出来るかを竹などの材料を使って、竹トンボや水鉄砲などを作る「伝承遊びのものづくり」を楽しみながら、環境学習活動を展開する。	150,000
UP-4	特定非営利活動法人 こども美術文化研究会	いのちかがやく 子ども美術展 in KUMAMOTO	一年を通じて、子どもが自然と触れ合い、自ら遊びを発見し、広げ、深め、仲間と共に育ち合う、そこから生み出された作品の中から、全国34園の公募選抜展と、遊びの写真及び動画、熊本8園の年長児の絵、遊びの写真及び動画を展示します。自然とのかかわりを重視した自由な環境の中で、「子ども文化は美術文化（アート）」との共通認識のもと、遊びや造形活動、そして描画活動に積極的に取り組む「子ども主体の保育」を実践している各地の保育園や子どもの姿を紹介します。	250,000
UP-5	あそび寺子屋	ラクに両立！働くママの育児と育自	事業Ⅰにおいて、前半では働くママが課題としている子どもとの関わり方についての講座を行う。後半は自身のための時間が取れない悩みを解消するために交流会を行い、なかなか確保できない自信を労わる時間も同時に提供できるよう、簡単なマッサージやセラピー、診断などのブースを設置する。（3回）また、事業Ⅱでは子どもの成長とともにママも成長を感じられるよう、自身のキャリアデザインや将来的な働き方と向き合う勉強会を行う。（2回）働くママを対象としている為、土・日・祝日の午後に行う。	250,000

令和2年度 くまもと・わくわく基金 助成申請団体一覧

【ステップアップ助成】

助成金予定額 150万円

No.	団体名	事業名	事業概要	申請金額 (円)
UP-6	NPO法人 ブライトパル熊本	“行事を楽しむ”親子いけ花	華道を通じ伝統文化等の継承・発展と、子供たちの豊かな創造性、人間性を育む事業です。四季を感じ、親と共に伝統行事を更に楽しむ機会を創出します。生け花を型にとらわれず自由な発想で親子各々生けてもらいます。お互いの作品を美点凝視で認め合い、教室終了後には作品を展示し、市民の方々へ障害に対する理解を深めて頂けるように事業を実施します。	160,000
UP-7	くまもと転入ママの会 くまてん	転入ママウェルカム会	熊本へ転入してきたママがスムーズに熊本に馴染み、ワンオペ育児にならずに、楽しく熊本生活を楽しめるよう、先に転入してきたママや地元ママ、地元企業や地域の方達と協力して転入ママの歓迎会を行う。	250,000
UP-8	NPO法人 くまもと新創生プロジェクト	世界に誇る「くまもとの水」 啓発応援事業	子供から大人・高齢者まで、熊本の水への理解と認知の取り組みを行い、改めてその「水のすごさ」を認知してもらう。また外に向けた材料の創出として、熊本の特殊性や湧水地や水の風景の紹介だけでなく、例えば水菓子、水に特長のある農産品を紹介する講座を開催。どうしても行政の場合、水道局なら上下水道の話、観光課なら湧水観光地の話、農産課なら農業の話など縦割りの啓発になる。総合的な理解を深めるものにする。	250,000
UP-9	傾聴ボランティアくまもと	熊本地震の被災者支援、公営住宅等を訪問しお話を傾聴する	震災仮設住宅（東町・益城テクノ団地・益城馬水）での4年間の傾聴活動（お茶会カフェ）を発展させる。転入された（災害）公営住宅や地域公民館訪などを訪問し、改めて新しい環境での傾聴を始める。一人ひとりの様々な悩み不安に寄り添う。	160,000
UP-10	NPO法人 身近な犯罪被害者を支援する会	犯罪被害者等への理解を深め、相談窓口及び支援内容についての周知対策及び犯罪被害者支援員の人材養成事業	犯罪被害者に対しては遠巻きにして接することを敬遠するきらいがあり、関わることを嫌う傾向にあります。被害者等は周囲からの孤立感を感じ誰にも会いたくない、周囲の人を避けて生活しているように思われます。被害者等に学ぶことで市民が支援内容、あり方等を理解し周囲友人知人の支援の輪を広めることに繋がるように。又関係機関との連携強化相互理解と共有を図ること。支援員の人材養成による支援の充実を図ること。	118,000